

知的障害特別支援学校における DC教育の実践



～教員と生徒が共に善き使い手をめざす学び～



知的障害特別支援学校について

知的障害のある子どもたちの通う学校

発達や認知の特性もあり

内的な凸凹がある

生活環境や学習経験にもばらつき

課題別の学習グループを編成

それぞれの課題に合わせた授業を展開

ICT機器を活用し、苦手さを補い得意を伸ばす

→親和性が高い



生徒たちの実態

知的障害特別支援学校 中学部 2年生 10名（教員2名）

課題別学習グループ 4展開中 最軽度

自立活動・道徳（50分×2コマ/週）

日常会話 口頭指示が可能

一方で・・・

学習意欲が高く 規範意識も高い 学習経験にばらつき

自信がない 手指の巧緻性に課題のある生徒も

学校のICT環境

GIGAスクール端末 iPad 約1人1台

持ち帰りはなく 学校保管 学部別の保管庫で一括管理

授業のたびに持ち出し→返却 各教室にWi-Fi

アプリは決められた物のみインストール可能

番号で管理→年度末にリセット



各教室にWi-Fiルーター



中学部 保管庫

めざしたところ



比喩の理解 ・ 抽象的な事柄の理解 ・ 語彙 ・ 自信の無さ

具体的な場面 ・ 具体的な行動 ・ 言い換え ・ 支援し共に成功体験を



授業のねらい

大人が使うように使える

禁止ではなく「どう使うか」「オープンに使う」

心身の機能を拡張する 表現のツールにする

生活に結びつける

必要なときに必要なだけ 自分で決めて使うことができる

わからないことはすぐ質問

授業①

授業でどう使いたいかを考えよう

STEAMライブラリー

「じぶんのパソコンを学びにつかうってどういうこと？」

動画視聴

<https://www.steam-library.go.jp/lectures/866>

自分の考えを記入→意見共有→追記

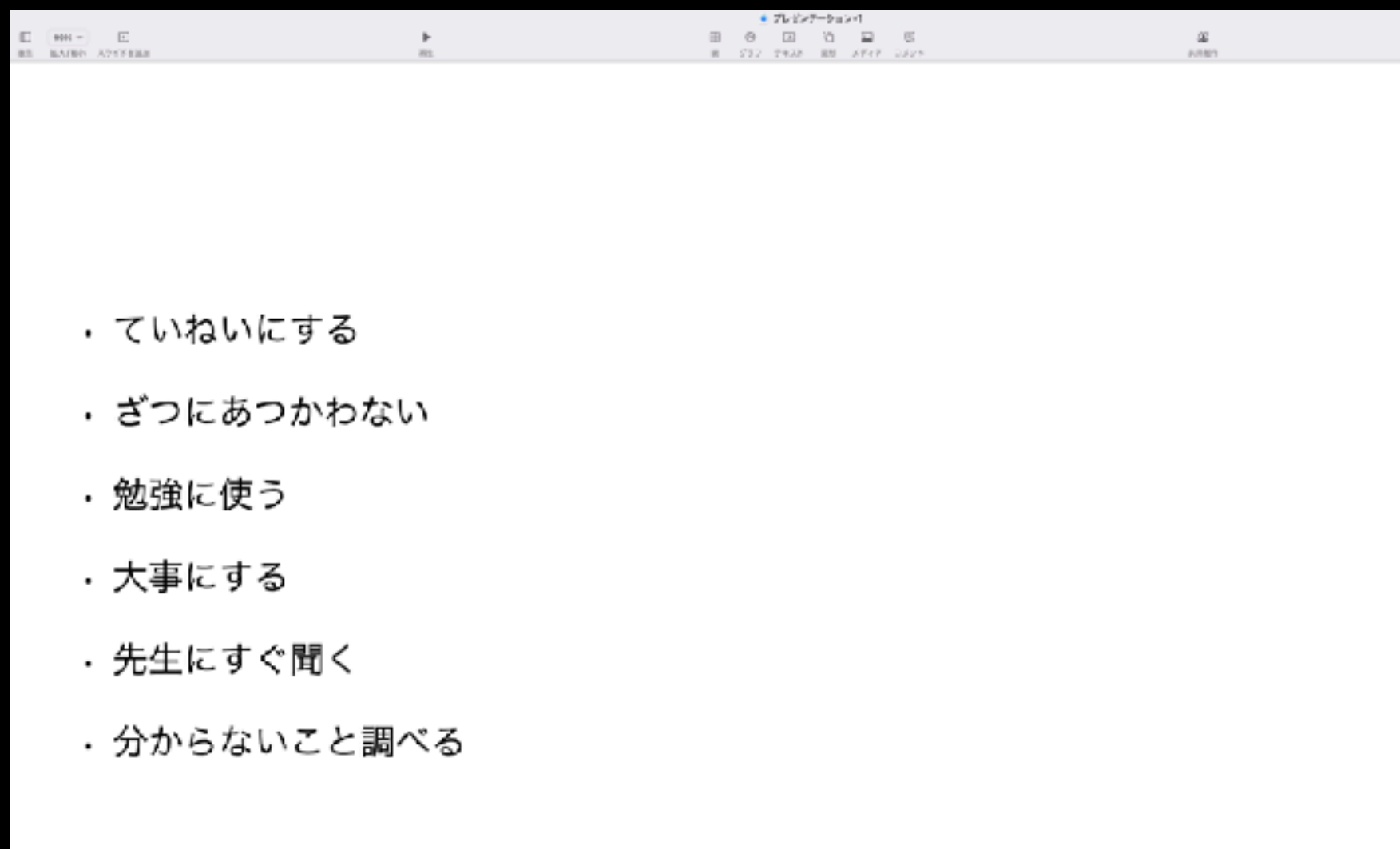
授業の工夫

言葉の意味理解、状況を想像することの苦手さ

「授業（勉強）」の場面に限定する
「質問（相談）」できることをめざす
一人ひとり違う「約束」を認める

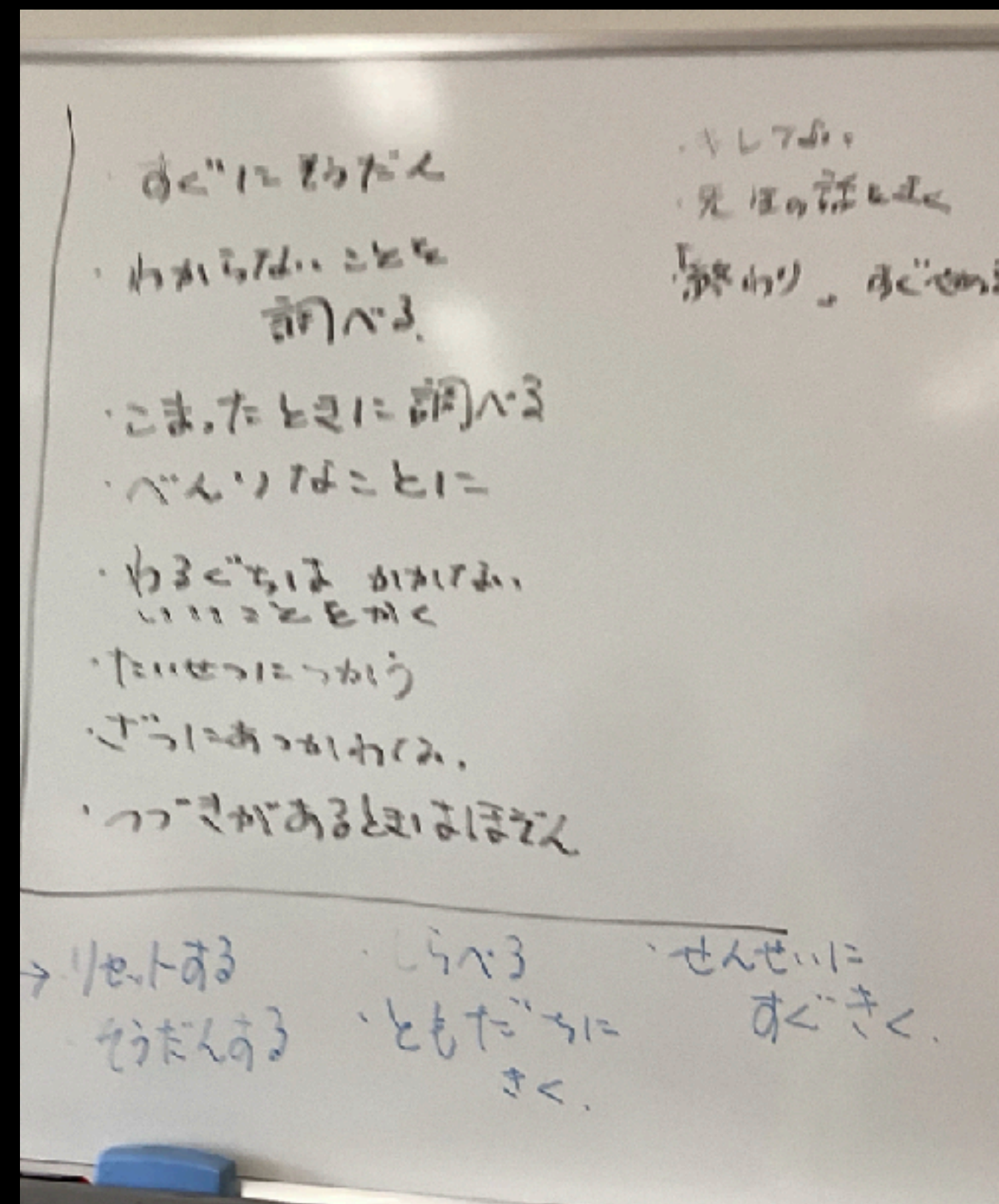
生徒たちの反応

IVグループ



自分の考えをスライドにまとめる

それぞれの考えをまとめて
意見を出し合い、追加する



意見を出し合い 交流

もう1つの学習グループ

知的障害特別支援学校 中学部 2年生 10名（教員2名）

課題別学習グループⅢ 4展開中2番目に軽度

国語・社会・外国語（50分×2コマ/週）

簡単な日常会話 簡単な口頭指示が可能

学習意欲が高く 規範意識にばらつき（強すぎる・難しい）

学習経験にばらつき

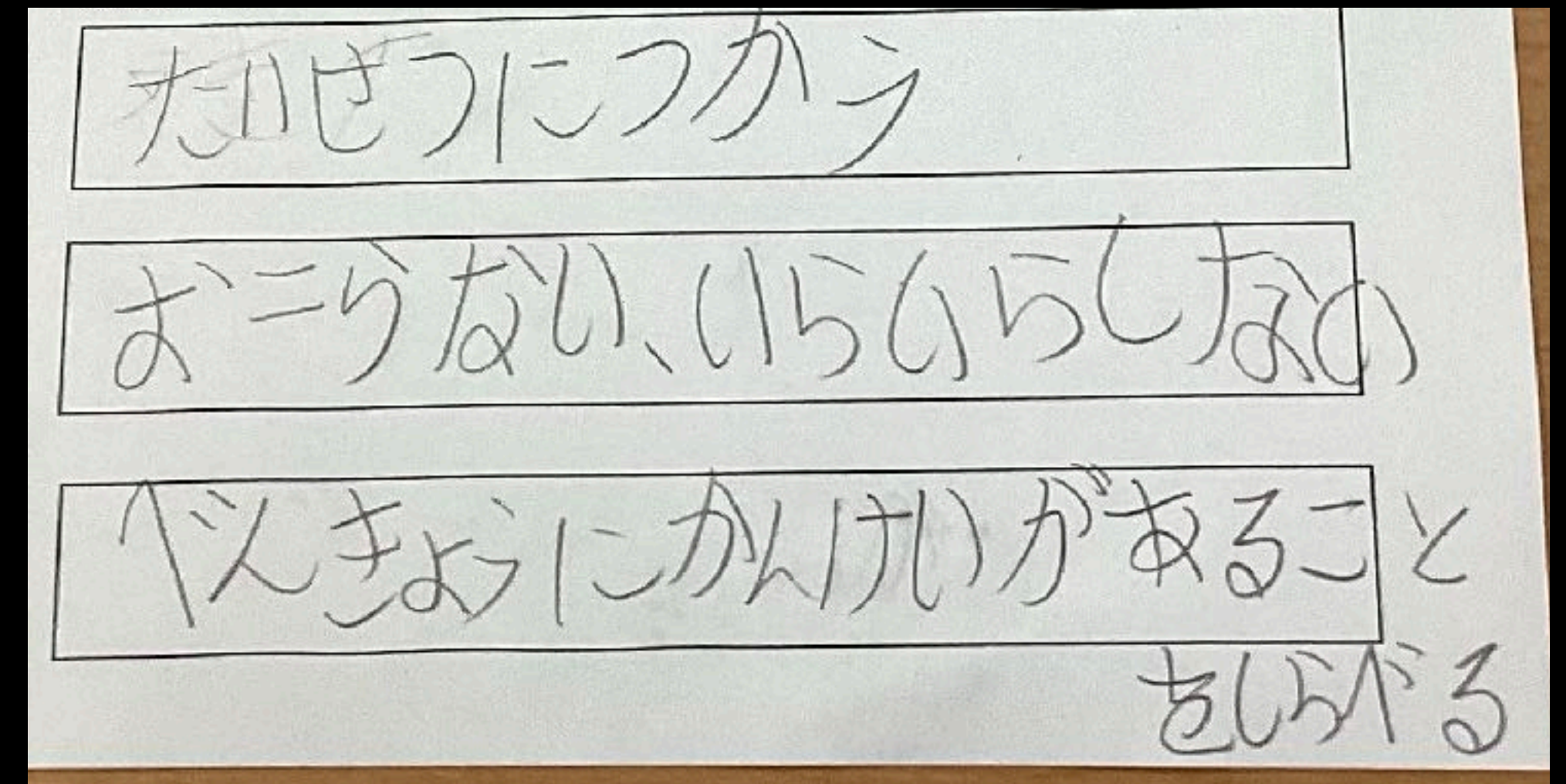
自信がない 集中力を維持しづらい生徒も

元気な生徒が多い

生徒たちの反応 III グループ

それぞれの考えをまとめて
意見を出し合い、追加する

同じ学年の生徒であっても
実態や課題に応じて
カスタマイズ



授業を実施するタイミング・方法も学習集団によって変える

授業の様子②

自分の好きな壁紙を設定しよう

「壁紙かえて いいですか？」

自分だけのiPadにしよう

自分のものとすることで、
愛着を持ち大切に扱えるように

生徒たちからの疑問

インターネット上の画像を使いたい
著作権は？

クリエイティブコモンズライセンスとかあったような・・・

自分の絵や写真に著作権は？



NHK for School 動画視聴

アツと！メディア～@media～

「どうして許可をとるの？～著作権～」

https://www2.nhk.or.jp/school/movie/bangumi.cgi?das_id=D0005180464_00000

授業の工夫

言葉の意味理解の難しさ

- 「宝物」への言い換え
- 著作権を知る 目標を段階的に設定する

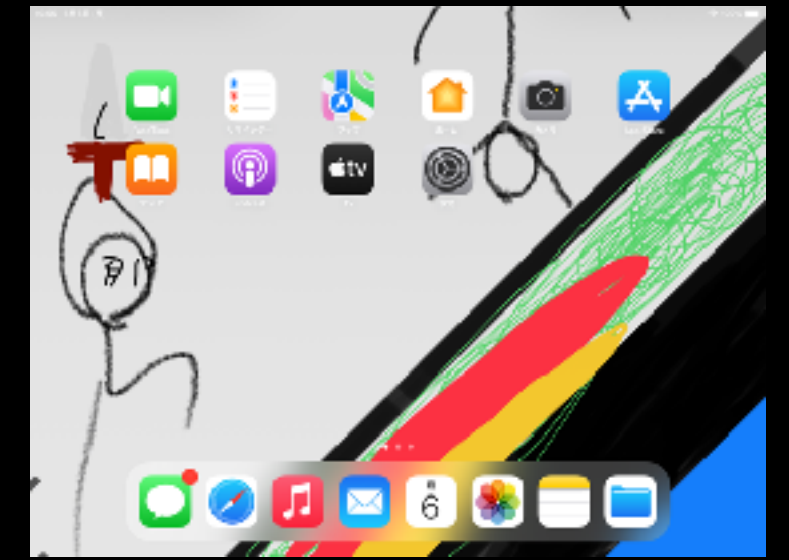
「怖い」だけが残りやすい

- 著作権違反の「恐怖」ではなく
「どう使うか」「使わないか」

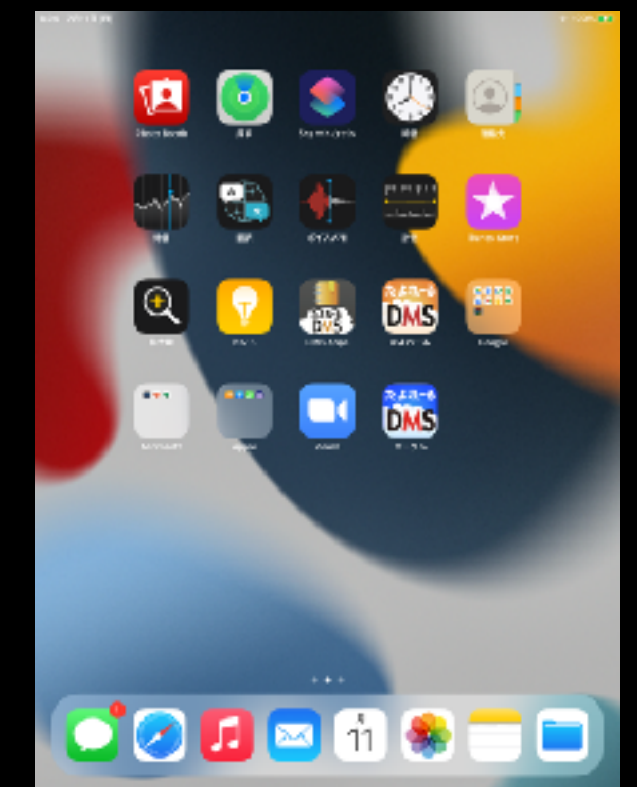
わからない時に「聞くことができる力」

生徒たちの反応

- ・ 最初から入っている画像を使う
- ・ 自分の撮った写真（好きな先生とのツーショット）
→相手の先生にお願いしてから使う
- ・ クリエイティブコモンズライセンス検索して
- ・ 自分の絵をスクリーンショット



自分の描いた絵を壁紙にした生徒



デフォルトの壁紙から選んだ生徒

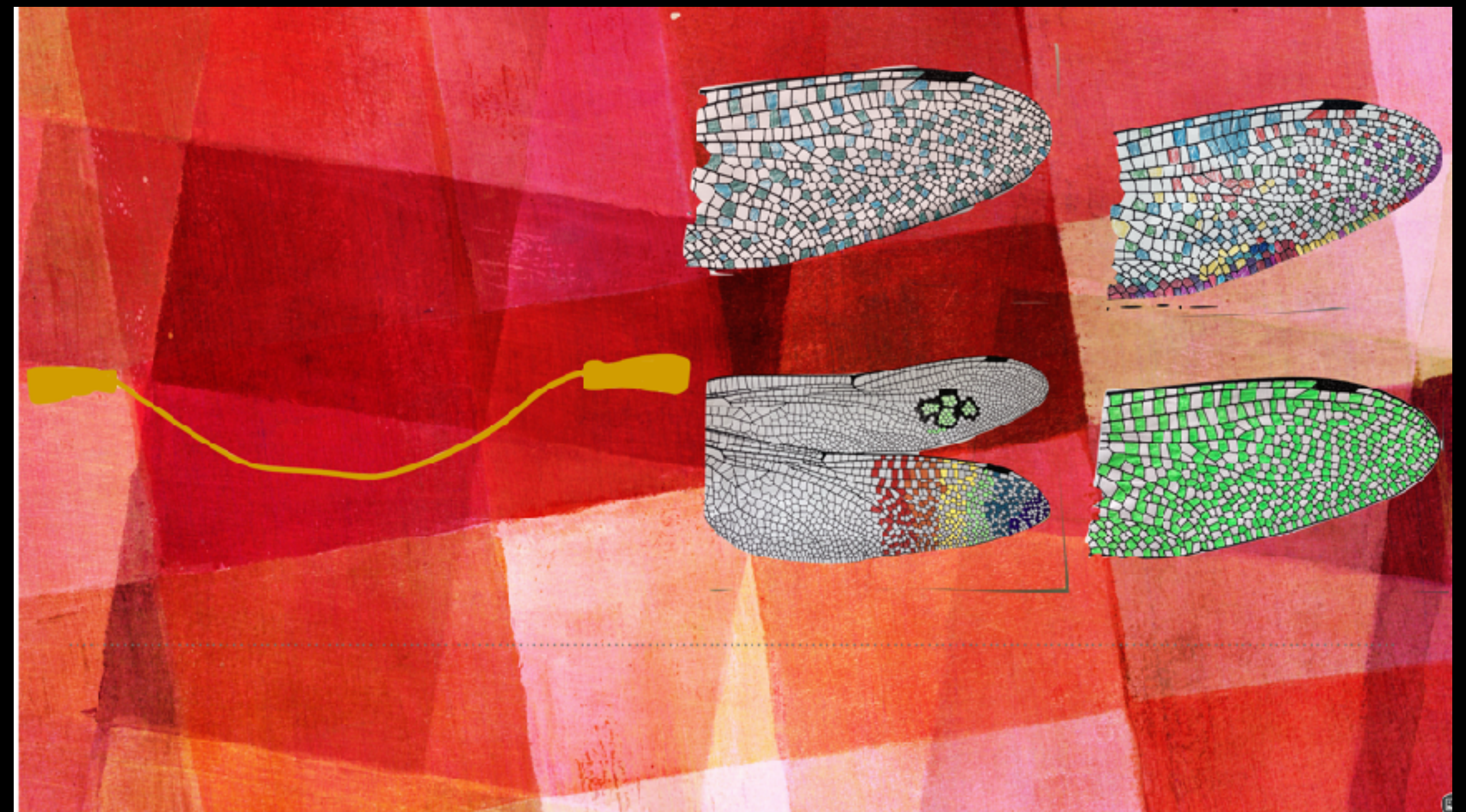
その後の生徒たち①

劇行事の背景作りで

→クリエイティブコモンズライセンス検索

→良いのが見つからない・・・

→自分で描けば良いや



その後の生徒たち②

学校紹介動画作り

→「これって、著作権大丈夫かな？」

→一緒に調べてみよう

→「これどういう意味？学校はOK？」

→「大丈夫みたいやね」



H.P.いらすとや
よくある質問 一部抜粋
[https://
www.irasutoya.com/p/
faq.html](https://www.irasutoya.com/p/faq.html)



知っていることが大切

そして、「相談（質問）」できること

言葉の意味が難しくても、助けがあればできる

その後の生徒たち③

授業中他のアプリを見ることは？

→ほとんどありません。

調べ物をしてそこから派生することや
待ち時間にメモ帳に落書きはあります

iPadの破損は？充電漏れは？

→今のところありません

生徒たちを取り巻く環境

iPadの保管は保管庫・・・

→それでも持ち出し・返却は生徒自身で

質問された時に「すぐ」答える

→質問する・一緒に解決する・質問して良かった体験を

課題から逸れてしまった生徒に

→「アカンやる」ではなく

「どうするんやっけ？」 「滋賀限定のスニーカー調べてみたら？」

大切にしたいこと①

どうすれば「自分ごと」にできるのか？

自分で選ぶ

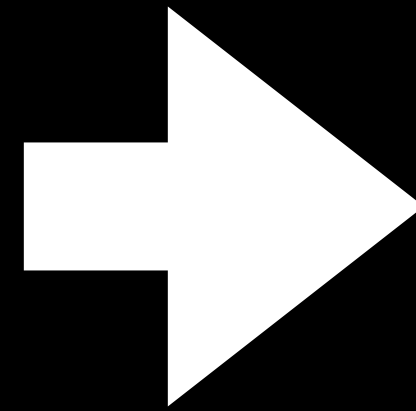
自分で決める

自分で行動する

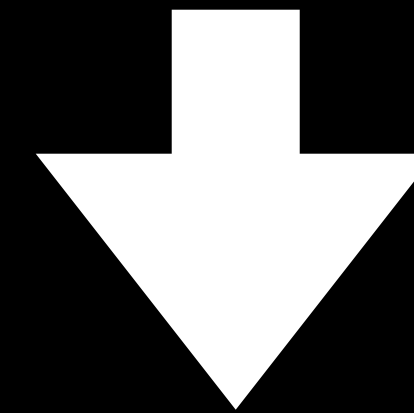
自分の選択が尊重されること
変化を認めること
周囲から学ぶこと

大切にしたいこと②

わからない
困った
なんかおかしい
気づく



質問
相談

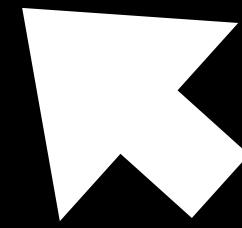


具体的な行動を
相談できる環境を
相談する成功体験

共に 考える

(デジタル) シティズンシップの 所在

社会の一員として
社会にアクセス



まずは
大人がその意識で関わる
こと

実態に応じて
なにをどこまで
伝えるか

具体的な行動と成功体験

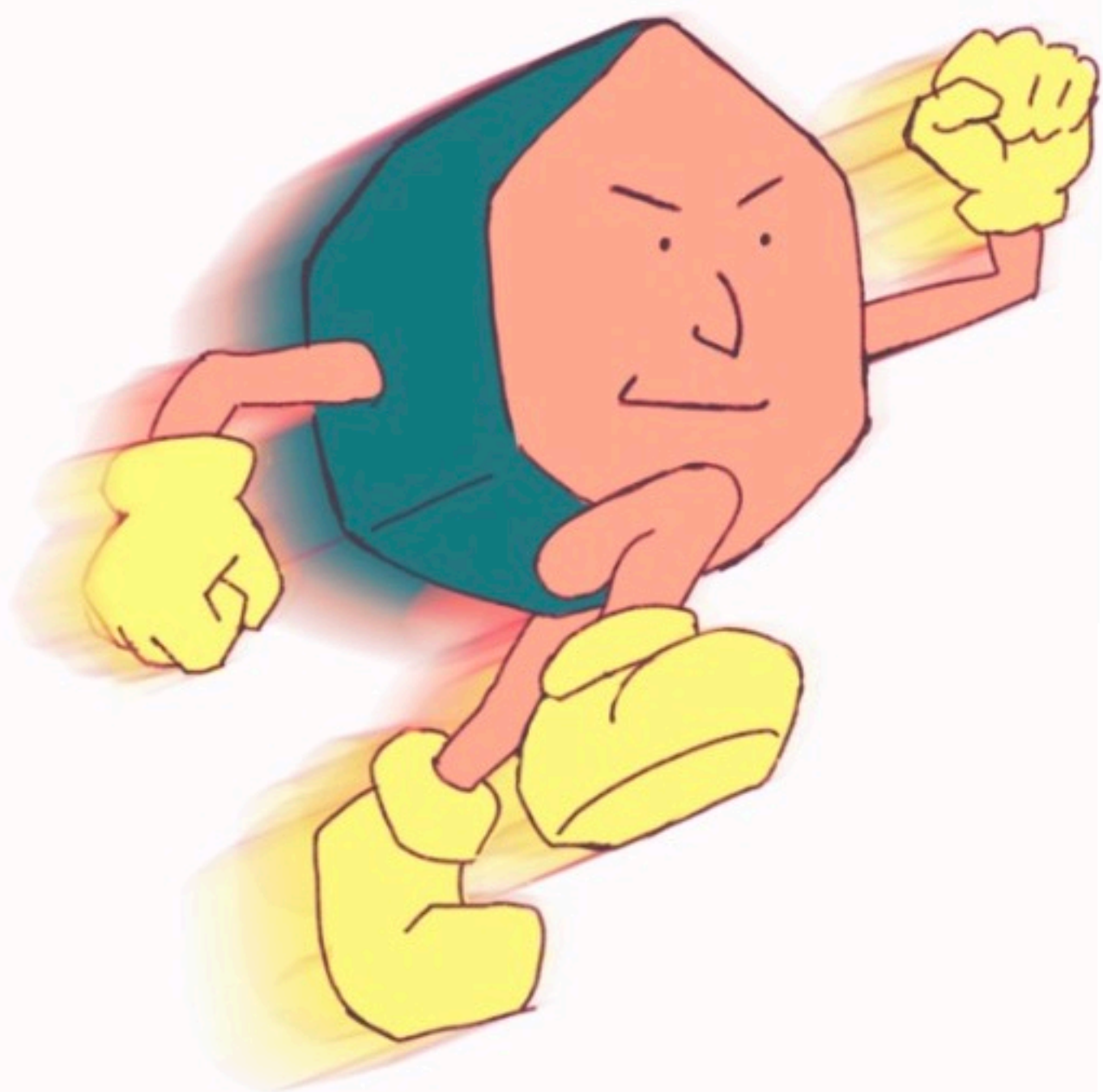
自立活動

教科の力

子ども

教員
保護者など

(デジタル) シティズンシップ



ダッシュニン！！

発表者モチーフのゆるキャラ「ダッシュニン」

ありがとうございました！！



発表者HP
QRコード



発表者
YouTubeチャンネル